

WAVE TO SMAF コンバータ

WSC-MA2

ユーザーズマニュアル

Ver 2.1.0 (Windows 版)

Ver 1.0.0 (Macintosh 版)



もくじ

Introduction ----- WSC-MA2 について.....	4
1. WSC-MA2 の概要	4
2. このドキュメントについて.....	4
3. Terminology.....	4
Chapter 1 ----- 使用前の準備	5
1. 動作環境	5
2. セットアップ.....	5
Chapter 2 ----- 基本的な使い方	6
1. WAVE データの準備	6
2. WSC-MA2 の起動	6
3. SMAF の作成.....	6
Step 1	6
Step 2	7
Step 3	7
Chapter 3 ----- 機能詳細	8
1. メインダイアログ	8
2. オプション設定ダイアログ.....	8
3. メッセージダイアログ	10
4. バージョン情報ダイアログ.....	11
Appendix ----- 付録.....	13
1. エラーメッセージとその対策	13
2. こんなときは？	14

<更新履歴>

バージョン	日付	内容
1.0.0	2002/12/18	新規作成
1.1.0	2003/02/18	入力 WAV ファイルのサイズ上限に関する記述を修正
2.0.0	2004/05/31	WAV ファイルフォーマットの拡大 AIFF フォーマットのデータに対応 保存可否フラグの設定項目を追加 再生時間の制限内で SMAF を出力するよう修正 Windows® 98SE をサポート対象から除外
2.1.0 (Win)	2004/08/02	Macintosh 版 新規リリース
1.0.0(Macintosh)		

- 本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
- 本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
- 本書の内容は予告なく変更される場合があります。

Introduction ----- WSC-MA2 について

1. WSC-MA2 の概要

WSC-MA2 は既存の WAVE データ (WAV/AIFF) から "Synthetic music Mobile Application Format" (以下 SMAF と省略) を作成するためアプリケーションソフトウェアです。WSC-MA2 を使用することによりお手持ちの WAVE データを元にしたオリジナルの携帯電話用着信ボイスを簡単に作成することが可能となります。

2. このドキュメントについて

本書は WSC-MA2 のユーザズマニュアルです。WSC-MA2 のセットアップ、基本的な使い方、および実際に SMAF を作成する際のガイドライン等について記述しています。構成は以下のようになっていますので、必要なところからお読みください。

セットアップの方法	-----→ Chapter 1 使用前の準備
とりあえず使ってみたい	-----→ Chapter 2 基本的な使い方
詳しい使い方を知りたい	-----→ Chapter 3 機能詳細

3. Terminology

用語	意味
SMAF	Synthetic music Mobile Application Format。
WAVE	この文章では、WAV/AIFF などの波形データをさします。
WAV	Microsoft WAV 形式オーディオデータ。
AIFF	Apple AIFF 形式オーディオデータ。

Chapter 1 ----- 使用前の準備

WSC-MA2 を使用する前に必要な準備事項について解説します。

1. 動作環境

WSC-MA2 は以下の環境において動作します。

「 Windows 版 」

対応機種	Windows [®] 2000、Windows [®] XP のいずれかの OS を搭載したコンピュータ
CPU	Celeron [®] 400MHz 以上、またはその互換プロセッサ
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	10MB 以上の空き領域

「 Macintosh 版 」

対応機種	Mac OS-X ver.10.2 以降を搭載したコンピュータ
CPU	Power PC TM G3 以降 500MHz 以上
メモリ	128MB 以上
ハードディスク	40MB 以上の空き領域

2. セットアップ

WSC-MA2 にはインストーラは付属していません。入手した圧縮ファイルを適当な場所に展開してください。展開されたフォルダには本マニュアルと実行ファイルが含まれます。

Chapter 2 ----- 基本的な使い方

WSC-MA2 を使用すれば簡単に携帯電話用の着信ボイスを作成することができます。ここでは実際の操作の流れを例に示して解説します。

1. WAVE データの準備

WSC-MA2 を使って SMAF を作るためには、以下に示す条件を満たしている WAV ファイル(*.wav) または、AIFF ファイル(*.aif) を用意する必要があります。

フォーマット	: PCM
サンプリング周波数	: 4kHz ~ 48kHz
量子化ビット数	: 8bit または 16bit
チャンネル数	: 1(モノラル) または 2 (ステレオ)

WSC-MA2 では再生時間が約 66 秒までの WAVE データを扱うことが可能です。それ以上の長さの WAVE データが入力された場合、先頭から約 66 秒までを SMAF に出力します。

2. WSC-MA2 の起動



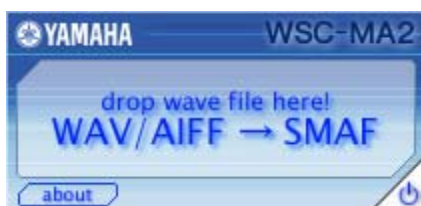
EXE ファイルもしくはそのショートカットのアイコンをダブルクリックします。

NOTE!!

「ファイル名を指定して実行」およびコマンドプロンプトからも起動できます。
(Windows 版)

3. SMAF の作成

Step 1



起動後に表示されるメインダイアログに WAVE データをドロップします。ここでは"CoolGuitar.wav"というファイルから SMAF を作成する場合の手順を例に挙げます。

Step 2

WAVE データに問題がなければ、続けてオプション情報設定ダイアログが表示されます。初期状態で入力ファイル名から拡張子を除いた文字列がタイトルとして入力されますので、ここではそのまま ok ボタンを押します。



Step 3



コンバートが終了するとメッセージダイアログが表示され、SMAF ファイルのサイズを通知します。SMAF ファイル"CoolGuitar.mmf"は元の WAVE データと同じフォルダに作られます。

NOTE!!

WSC-MA2 で作成した SMAF はお手持ちの携帯電話に転送して再生することができますが、[SMAF GLOBAL](#) で公開されている ATS-MA2、ATS-MA3、ATS-MA5 や、MidRadio を利用するとパソコンでも再生することができます。

以上、WSC-MA2 の操作の流れについて説明しました。一般の WAVE データについても同様の方法でコンバートを行う事ができますが、スムーズに SMAF の作成を行うために次の二つのポイントに注意します。

✓ WAVE データファイルは指定の条件を満たしていますか？

「[WAVE データの準備](#)」で示した条件を満たさない WAVE データについては WSC-MA2 ではコンバートすることができません。異なっている場合はファイル編集ソフトで前もってフォーマットの変更を行う必要があります。

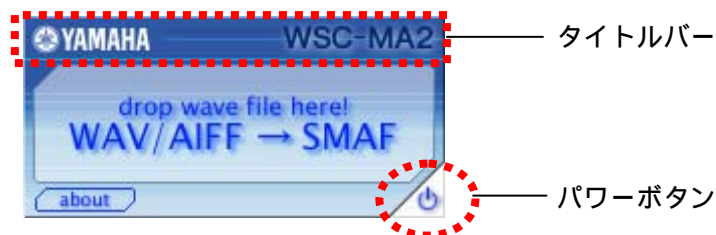
✓ お手持ちの携帯電話で扱えるファイルサイズの上限を確認してください

端末やキャリアによって扱うことのできるファイルサイズの上限が異なっているため、指定の条件を満たした WAVE データから作られた SMAF ファイルであっても端末に転送できなかったり、あるいは転送できても再生できなかったりする場合があります。ご使用中の端末で扱えるサイズをオーバーしている場合は元の WAVE データの長さを調整して範囲内に収まるようにしてください。

Chapter 3 ----- 機能詳細

基本的な操作方法とその流れは Chapter 2 で説明しましたが、ここでは WSC-MA2 を構成する個々のダイアログの仕様と機能の詳細について解説します。

1. メインダイアログ



WSC-MA2 の起動後、最初に表示されるダイアログです。

アイコンのドロップによって WAVE データの入力を受け付けます。

about ボタンからはバージョン情報ダイアログを呼び出すことができます。

この他、全てのダイアログにおいて共通な機能として以下のものがあります。

- タイトルバーのドラッグによるダイアログの移動
- パワーボタンによる WSC-MA2 の終了

2. オプション設定ダイアログ



メインダイアログにドロップされた WAVE データが変換条件を満たしている場合に表示されます。このダイアログでは SMAF に含む各種のオプション情報を編集することができます。

□ **タイトル情報入力フォーム**

SMAF に付加するタイトル情報を入力します。初期状態では入力ファイル名から拡張子を除いた文字列がセットされます。

Macintosh 版では、タイトル部分をクリックすると以下の様なダイアログが表示されます。



□ **著作権情報入力フォーム**

SMAF に付加する著作権情報を入力します。

Macintosh 版では、著作権情報部分をクリックするとタイトルと同様に別ダイアログが表示されます。

□ **Copy Status 設定チェックボックス**

保存：端末への保存制限をするかを設定します。チェック有りで保存可に設定します。

転送：端末から端末への二次転送を制限するかどうかを設定します。チェック有りで転送可に設定します。

□ **サンプリング周波数設定ラジオボタン**

WAVE データを SMAF に格納する際のサンプリング周波数を設定します。

入力された WAVE データにより設定できる項目は変わります。

NOTE!!

一般にサンプリング周波数を低くするとデータ量は小さくなりますが、それとともに音質も低下します。

clear ボタンを押すとエディットボックスの入力情報がクリアされます。

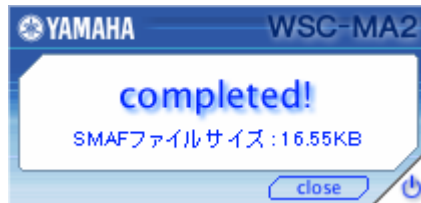
ok ボタンを押すと入力情報を確定して SMAF へのコンバート処理を開始します。

cancel ボタンを押すと入力情報を破棄してメインダイアログに戻ります。

3. メッセージダイアログ

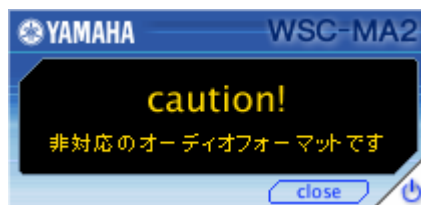
表示される状況に応じて二種類のメッセージダイアログが存在します。

□ **完了メッセージ**



正常にコンバートが完了したことを通知します。
併せて出力された SMAF のサイズを表示します。

□ **エラーメッセージ**



処理の途中で何らかのエラーが発生したことを通知します。エラー発生箇所
に対応したメッセージを表示します。上記は入力 WAVE データに問題がある
場合のエラーメッセージの一例です。

NOTE!!

表示されたエラーメッセージの詳細と主な対策については Appendix の
「[エラーメッセージとその対策](#)」を参照してください。

いずれの場合も close ボタンを押すとメインダイアログに戻ります。

4. バージョン情報ダイアログ



WSC-MA2 のバージョンを確認することができます。また、青色で書かれた URL をクリックすることで [SMAF GLOBAL](http://smaf-yamaha.com) へとジャンプします。

close ボタンを押すとメインダイアログに戻ります。

「 Macintosh 版 」について

WSC-MA2 をアクティブすると、画面上部に以下のメニューバーが表示されます。



WSC-MA2 メニュー

WSC-MA2 について

選択によりアプリケーション情報を表示します。



WSC-MA2 を隠す

WSC-MA2 のダイアログ表示を消します。

ほかを隠す

WSC-MA2 以外のアプリケーション表示を消します。

WSC-MA2 を終了

WSC-MA2 を終了します。

ファイルメニュー

開く



ファイル選択ダイアログを表示し、オーディオファイルを開きます。

Appendix ----- 付録

WSC-MA2 を使用する際に知っておくと便利な情報を記載します。

1. エラーメッセージとその対策

コンバート途中でエラーが発生した場合は以下のメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	原因と主な対策
WAV/AIFF ファイルを開けません。	WAVE データの読み取りが許可されていないか、または他のアプリケーションでファイルを使用中です。ファイルの属性を確認するとともに WAVE データが使用中でないか確認してください。
拡張子が .wav / .aif ではありません	WAV / AIFF 以外のファイルを入力していませんか？もしくはファイルの拡張子が間違っていないか？入力ファイル名を確認してください。
ファイル名が長すぎます。	入力されたファイルの絶対パスが文字数の制限を越えています。ファイルを上位の階層に移動するか、フォルダ名・ファイル名を短くしてください。
非対応のオーディオフォーマットです。	入力された WAVE データは WAV / AIFF のどちらでもありません。
非対応のサンプリング周波数です。 非対応の量子化ビット数です。 非対応のチャンネル数です。	入力された WAVE データが変換条件を満たしていません。Chapter 2 の「 WAVE データの準備 」を参考にして、フォーマットを確認してください。
再生時間が短すぎます	WSC-MA2 では再生時間が 20 ミリ秒以下の WAV ファイルを扱うことが出来ません。再生時間が 20 ミリ秒よりも長いファイルを用意してください。
SMAF ファイルを保存できません	同名の SMAF が読み取り専用で存在している、もしくはフォルダ自体への書き込みが許可されていない可能性があります。フォルダおよびファイルの属性を確認してください。
ディスク容量が足りません。	ディスク容量が不足しているため、変換後のデータを保存できません。
ファイル名のエンコードが非対応です。	指定されたファイル名に使用されている文字コードが動作環境の設定と異なっているため正常に変換できません。

2. こんなときは？

- Q** 複数の WAVE データをドロップしたのに、SMAF ファイルが一つだけしか作られない。
- A** 一度に入力できる WAVE データは一つだけです。複数のファイルが選択された状態でドロップした場合はいずれか一つのファイルが変換されます。複数の SMAF を作成したい場合はその回数分だけコンバートを行う必要があります。
- Q** 新たに SMAF ファイルを作成したらそれ以前に作ったファイルが見当たらなくなった。
- A** 出力される SMAF ファイルの名前は元の WAVE データの拡張子を“.mmf”に置き換えたものになります。出力先に既に同じ名前の SMAF ファイルが存在する場合は上書き保存しますので、重要な SMAF ファイルについてはあらかじめ名前を変えておく、または別フォルダへ移動しておく必要があります。
- Q** ウィンドウから文字がはみ出てレイアウトが崩れてしまう。
- A** 画面のプロパティからフォントサイズを「小さいフォント」に設定してください。通常のサイズ(96dpi)以外のフォントサイズではきれいに表示されません。(Windows 版)